3・8演説会
道東から初の共産党道議を！

自・公・民の独占を打ち破ろう！
―― 今度こその思いを ――

3月8日、党釧根地区委員会は、はたやま和也衆議院議員を招き、プリンスホテルにおいて日本共産党演説会を開催。会場には400名以上が参加しました。

石川明美道議候補は、「戦争できる国に安倍首相の暴走が続いている。そのバックボーンが『日本会議』という極右団体。国会議員の多くが加盟しているが、道議会も自民党のほとんどが入っている。戦争できる国にさせないため、私を道議会に押し上げてください」と訴えました。そして「釧路市の道議定数4は長年の間、自・公・民で占有されてきた。これでは消費税増税反対、カジノはやめてほしい、泊原発の再稼働もダメ、という声はまったく届かない。こんどこそ共産党の議席を。そのため、もう一人、もう二人と声をかけてほしい」と力強く呼びかけました。

3月8日、釧路市の道議会の議席。自・公・民の独占を打ち破ろうと訴える石川明美候補。

はたやま衆議院議員
全中つぶしは農協つぶし！

はたやま和也衆議院議員は、安倍内閣に真正面から対決してきたこと。くらし・福祉破壊、平和・外交での「戦争できる国づくり」など。そして農林水産員会での初質疑を紹介し、次のTPP反対の本格的質疑を行おうと準備した後、突然の西川農水大臣が辞任。質問できませんでした。原因は政治と金。だからこそ、企業献金禁止と政党助成金の廃止こそ必要だと訴えました。

さらにTPP推進のための農協つぶしの実態を告発。だからこそ、道議選、市町村議選をはじめとしたいっせい地方選挙で、必ず勝利しようと激励しました。

知事選挙では、佐藤のりゆき氏を支援することも合わせて訴えました。

元気をもらった！

参加者からは、「自・公・民ではもうダメ、今度こそ共産党の議席を」、「極右団体に入っている道議は戦争をやる議員だ」、「安倍首相の暴走は怖い、本当に戦争をやるのでは」、「元気をもらった」など。

投票日まで一ヶ月。まだまだ議席には届いていません。しかし、新しい支持者がどんどん増え、可能性が広がっています。党地区委員会は、「追いつき、追い越せ」と目標達成へ全力をあげる決意を述べました。

残業代ゼロ、生涯ハケンなど、恐ろしい法案が！　過労死、格差拡大が・・・
安倍暴走政治のストップを！

いっせい地方選挙

全国の都道府県で、いっせいにおこなわれる知事、都道府県、市町村での選挙。釧路市では、三つが実施されます。

4月12日投票日　道知事選挙
道議会議員選挙
4月26日投票日　釧路市議会議員選挙

4年前の投票率は、約50%、これでは民意が反映されません。多くの人の参加を！

くしろ民報

2015年 3月 15日　いしかわ通信第683号
発行者 日本共産党釧根地区委員会
電話 22−6121